

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護学実習 I	NSP44_009	選択		4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎洋子、望月宗一郎、伊丹幸子、渡邊美樹、馬淵路子	301	y.yamazaki	金曜日 16:20~17:00		
授業の目的・概要	保健医療福祉行政における保健所の機能と役割、保健所の主な業務内容を理解し、保健所保健師の役割や連携の在り方を検討する。保健師の行う公衆衛生看護業務を見学・実地に体験することを通して、地域を対象とした専門的・広域的、技術的保健所保健師の役割・技術を習得する。結核管理の実際、難病の取り組みの実際から保健医療福祉行政や公衆衛生看護管理の在り方を学ぶ。また、健康危機管理や食品安全管理、薬物乱用予防など公衆衛生に関わる保健所の役割機能の実際の説明を受け、公衆衛生に果たす看護専門職の役割を明らかにする。				
学習上の助言	保健所保健師の業務を実地に見学・体験することを通して、地域住民を対象とした看護専門職としての態度を養ってほしい。				
教科書	教科書は指定しない				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護学分野の各科目で用いた教科書 ・厚生省の指標 増刊 国民衛生の動向 2020/2021/厚生労働統計協会 ・最新 公衆衛生看護学 第3版/2019年版/編:宮崎美砂子 他/日本看護協会出版会 ・新版 保健師業務要覧 第3版/2018/編:井伊久美子ほか/日本看護協会出版 				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	保健所の機能と組織体系、法的根拠が述べられる			NS(1~5)	
②	公衆衛生看護の対象の把握方法と健康課題解決方法を理解し、説明できる			NS(1~4)	
③	地域ケアシステムの現状を理解し、保健所保健師の役割を述べられる			NS(1~5)	
④	健康危機管理、公衆衛生看護管理の役割を理解し、説明できる			NS(1~5)	
⑤	多様な組織での保健活動および地域保健での組織間の連携について理解できる			NS(1~4)	
⑥					
授 業 計 画					
<p>1. 実習時期と期間 6月~7月の1週間のうち2~3日間(実習先の都合による)</p> <p>2. 実習施設 県内保健所(富士東部保健所等)</p> <p>3. 実習目標 公衆衛生の第一線機関とされる保健所で実習することを通して、以下のことについて学ぶ。</p> <p>(1) 保健所の機能や役割</p> <p>(2) 地域のケアシステムの中で機能する看護専門職の役割</p> <p>(3) 公衆衛生看護の基本となる家庭訪問援助技術、相談的、教育的保健指導技術</p> <p>(4) 地域の健康課題の改善をはかるための施策化のプロセス</p> <p>4. 実習の展開</p>					
	実習日	実習内容		備考	
		午前	午後		
	第1日<学内>	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護学実習 I・II 全体オリエンテーション ・保健所実習オリエンテーション 	学内演習 <ul style="list-style-type: none"> ・実習保健所の概要を整理する。 ・保健所業務要覧、保健統計資料を用いて、保健所管内の地域特性を調べ、健康課題を明らかにする 	保健所で学びたいことを整理する。	
	第2日~第4日<保健所>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習保健所のオリエンテーション・所内見学 ・保健所の業務説明・保健福祉事業参加・見学 ・保健所の他職種・他機関との連携 ・保健師の現任教育の方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所の業務説明・見学参加 ・保健所の取り組みと保健師の役割について ・カンファレンス 	健康危機管理(感染症対策、結核管理状況、他職種との連携・協力体制等) 保健師の人材育成 地域職域連携事業などを含む 実習の終了前にカンファレンスを行う。	
	第5日<学内>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習保健所の参加事業報告会 	保健所実習で理解したことの共有 <ul style="list-style-type: none"> ・保健所保健師の役割 ・他職種・他機関との連携 実習 II への課題	公衆衛生看護における保健所保健師の役割、公衆衛生看護管理の理解	

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

学習課題・学習時間（時間）						
<p>これまで伝えた公衆衛生看護学の実践活動を実地に体験する実習科目です。</p> <p>住民の健康を守る公衆衛生の第一機関としての保健所の役割、その中で役割を果たしている保健師の業務の実際を通して、公衆衛生看護学の理解を深め、さらに今後解決すべき公衆衛生看護の課題を見出すための自らの学生自身の課題を明らかにするよう取り組んでほしい。</p> <p>事前の実習先の保健所のホームページにある業務概況を読んで参加すること。</p> <p style="text-align: right;">必要時間： 5時間</p>						
達成度評価						
総合評価割合（％）	試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
	0	60	30	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				
試験	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
レポート	①	✓	日々の記録、レポート、カンファレンス記録を総合的に評価する。			日々の記録から学生の理解度を確認し、振り返りを行う。
	②	✓				
	③	✓				
	④	✓				
	⑤	✓				
	⑥					
成果発表	①	✓	まとめの発表について評価する。			発表会において、指導者、教員が講評する。
	②	✓				
	③	✓				
	④	✓				
	⑤	✓				
	⑥					
その他	①	✓	出席日数と実習に取り組む態度、グループで行う発表等を総合的に評価する。			欠席及び実習態度は減点の対象となる。
	②	✓				
	③	✓				
	④	✓				
	⑤	✓				
	⑥					
備 考						
他 担 当 教 員	伊丹幸子、望月宗一郎、渡邊美樹、馬淵路子					
教 員 の 実 務 経 験	教員は、それぞれ、行政分野、退院支援・訪問看護分野の保健師の経験を10年以上有する					
実 践 的 授 業 の 内 容	担当教員がそれぞれ、自治体保健師、訪問看護活動、さらに退院調整や療養生活相談等の経験を元にして、保健医療福祉行政のあり方や公衆衛生看護管理のあり方を、現場の公衆衛生看護活動に意味づけしながら指導し、人々の暮らしに寄り添った看護に必要とされる知識の習得を目指す。					
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・大学から示されている感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。 ・本科目は、保健師課程選抜者のみ、履修可能である。 					